



美しく咲き誇るりんごの花【長野】

本号の記事

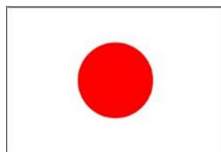
- **日本**
 - ▼長野：まちあるきと「復興まちづくりりんご」で、「ながぬまっぷ」を作成
 - ▼長野：休眠預金等活用事業 外部モニタリングの実施
 - ▼講師派遣：甲南女子大学NPO/NGO論、甲南大学グローバル★ツナガルCaféでの講演
- **フィリピン**
 - ▼台風22号 ライ（現地名オデット）被災校へのクリーンアップキット供与/貸与
- **ミャンマー**
 - ▼子どもたちの教育継続支援の実施とご協力をお願い

■ バングラデシュ

- ▼学校防災事業の最終ワークショップ開催
- ▼ラルマティア校での防災訓練の実施
- ▼ラルマティア校で防災教育開始

■ ご案内

- ▼ODA白書にバングラデシュ事業掲載
- ▼社会科学からみるSDGs
- ▼第8回アクサユネスコフォーラム 減災教育プログラムへの参加募集（5/31㊄）
- ▼日本・モンゴル 外交関係樹立50周年 青少年交流推進年記念行事（6/30㊄）



日本

▼長野 令和元年台風19号で被災した長野市長沼地区の復興まちづくりを支援します。

ジャパンプラットフォーム・休眠預金等活用事業

（令和元年台風15号・19号被災地支援プログラム）

▼本部 講師派遣

長野：まちあるきと「復興まちづくりんご」で、「ながぬまっぶ」を作成

3月3日～4日、長沼地区復興対策企画委員会コミュニティ検討会の活動として、長沼地区を構成する4つの区にてそれぞれの区長さん・副区長さんと共に「まちあるき」をしました。目的は、2021年7月～10月にかけて住民の方々から寄せていただいた3色のりんご型カード「長沼の復興まちづくりんご」の声を、「ながぬまっぶ」として空間と紐づけて可視化すること。まちの魅力や資源として、課題解決と希望を実現する未来のまちの姿を絵地図にしました。この「ながぬまっぶ」が、まちへの愛着、共感、誇りと主体性の醸成に役立つツールとして活用されることを願っています。

[詳細記事はこちら](#)



大町区：1846年（弘化3年）に大町で発生した大火を契機に防火防災を願って日々続けられている御燈明番。長沼神社でタイミングよく出会いました。



穂保区：長沼城の「天王宮」と呼ばれていた場所に、長沼城の跡地として石碑が遺されています。これから建設される防災ステーションの文化財発掘調査で、ここに確にお城があり、城下町・宿場町としてのくらしがあったことが改めて証明されました。



津野区：八幡神社横には善光寺平地改良区理事長、全国ホップ農業協同組合長 渡辺氏の銅像がありました。全国に先駆けて長沼でホップ栽培が試作されたという記録が残っています。



赤沼区：新幹線車両基地傍の浅川沿い堤防も歩きました。裾花川の水が長沼地区まで引かれた養水を通して浅川に排水されています。



長野：休眠預金等活用事業の外部モニタリングの実施

3月5日～8日、新潟大学工学部准教授・認定ファンドレイザーの上田和孝先生をお招きし、「Withコロナ時代の復興まちづくり支援事業」の事業評価を外部専門家として実施いただきました（一部オンライン）。

モニタリングを通じ、関係者からのポジティブな効果や変化について何うことができた一方、緊急時から2年が経過し平時の自治システムに移行する中で、長沼地区住民自治協議会としての意志決定・合意形成において、ご指摘やご指導をいただくこともありました。SEEDS Asiaとしては今後の参考・教訓として重く受け止め、三思後行して参りたいと存じます。本事業で関わってくださった関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

[詳細記事はこちら](#)



講師派遣：甲南女子大学、甲南大学での講演

SEEDS Asiaは災害リスクの理解促進を一つの重点活動として啓発活動を実施しており、ご依頼に応じて、理事やアドバイザー、職員の講師派遣を行っております。

4月には事務局長の天津山光子がSEEDS Asiaの本部事務所から近接している2つの大学でお話する機会をいただきました。それぞれの講演内容については、団体のホームページで[甲南女子大学NPO・NGO論での講演](#)、[甲南大学国際交流センターグローバル★ツナガルCaféでの講演](#)の概要を掲載致しましたので、ご覧いただけたら嬉しいです。



フィリピン

▼台風22号 ライ（現地名オデット）による被災児童・生徒の教育機会の確保に向けた支援を展開しています。

被災地への緊急支援、復旧・復興支援





台風22号 ライ（オデット）被災校へのクリーンアップキット貸与/供与

12月にフィリピン中部を襲った台風オデットによる被害は今も残っています。

SEEDS Asiaはジャパン・プラットフォーム（JPF）の緊急支援プログラムにて事業を開始し、電力が途絶えた学校への発電機や、未だに校内に倒木や瓦礫など、授業の再開に課題を抱える学校へのクリーンアップキットを供与しています（一部機材は貸与）。

4月後半にはチェーンソーを始めとしたクリーンアップキットを持って教育省地区事務所や学校を訪問しました。それぞれの地区で、特に山奥や離島にある学校の被害が甚大であり、まだ支援が及んでいない現状が見えました。多くの学校で再開の目途が立たない中、このクリーンアップキットの供与/貸与が復旧・復興の一助となることを願い、効果的な活用に向けた支援を実施していきます。

まだまだ多くの学校が支援を必要としています。SEEDS Asiaは引き続き、学校の早期復旧に向けて活動をして参りますので、皆さまからの温かいご支援をお願い致します。寄付の方法については[こちらのリンク](#)をご参照ください。尚、SEEDS Asiaは認定NPO 法人格の交付を受けており個人・法人からの寄付について税法上の優遇措置（税額控除対象）を受けることができます。



ミャンマー

▼複合的リスクの中にある児童の教育機会の確保に向けた支援を開始します。

被災地への緊急支援



子どもたちへの教育継続支援実施と協力をお願い

ミャンマーでは、コロナ禍と政情不安の中、約2年間にわたり学校が閉鎖していました。このままでは、貧困の深刻化など、潜在的な社会課題が大きく膨らみ、より災害に脆弱な状態に陥ることが懸念されます。

そこで、11月から緊急支援の呼びかけを開始したところ、京都東ロータリークラブ、大阪東ロータリークラブの有志の皆様より、ご支援・ご協力を賜りました。お預かり致しましたご支援は、洪水常襲地として知られるミャンマーのデルタ地域のヒンタダ地区の8校（471名）の児童向け文房具として活用させていただきました。長期的な視野に立ち、ミャンマーの未来と「学びたい」という子どもの希望を、温かいお気持ちで支えてくださったことを、ここに改めて深く感謝申し上げます。これからもミャンマーにおける複合的な災害リスクにある子どもたちへの支援活動に注力していく所存でございます。どうぞ、皆様お力添えの程、宜しく願い申し上げます。

[詳細記事はこちら](#)



バングラデシュ

学校を拠点としたコミュニティの防災力向上と全市的な意識啓発を目指します。

外務省 日本NGO連携無償資金協力事業



学校防災事業の最終ワークショップ開催

モデル校と北ダッカ市、そして消防署、教育省、防災省などの関係者とともに、事業の成果と次のステップを話し合う最終ワークショップを実施しました。

参加者は、他校がすぐに始められる活動として、雨水の収集、防災研修、消火器など資機材の設置、訓練を挙げ、全ての活動を同時に始めることは難しくても、できるところからひとつずつ取り組んでいくことが大切だということを確認しました。事業で作成した防災ハンドブックやビデオを用いながら、学校と地域の防災が普及していくことを期待します。

以上をもちまして、2020年よりダッカで実施してきた「学校を中心とした地域の災害対応能力向上支援事業（外務省日本NGO連携無償資金協力事業）」が完了致しました。事業開始時はコロナ禍の新体制でどうなることかと不安ばかりでしたが、応援し、協力してくださる皆様のおかげで完了できました。ここに深く感謝申し上げます！

ラルマティア校で防災訓練

3月10日は Bangladesh では防災の日に制定されています。この日、ラルマティア校にて地震と火災を想定した実践訓練を実施しました。Bangladesh では、学校は年に一度避難訓練を行うこととされていますが、防災への関心の低さやノウハウがないことが理由で実施されていないケースが多いのが現状で、ラルマティア校でも今回が初めての訓練でした。

コロナ禍で生徒の人数を減らしての開催となりましたが、学校防災委員会メンバー、教員、職員、地域コミュニティメンバーが参加しました。訓練では、事業を通して設立支援をした学校防災委員会とその中の各グループの役割分担と手順の確認、また、雨水タンクの水を使った消火活動などを行いました。

訓練を通しての気づきは訓練後の評価会でよく話し合われ、次回に活かされることとなりました。



ラルマティア校で防災教育開始

実施してきた事業の効果が形として見える瞬間は、非常に嬉しいものです。北ダッカ市のラルマティア校の先生方が、大気汚染、火事、地震、雷、感染症と衛生、気候変動の6つのトピックで生徒向けの防災授業を実施しました。

都市災害や防災に関する授業は、先生方も生徒たちも初めての経験でした。先生方は、近年のダッカでの災害事例を紹介しながら、災害のメカニズム、対応、そして備えについて、研修や実践訓練で学んだ知識とスキルを生徒たちに伝えることができ、研修の効果を発揮しました。

一つの授業、一つの学びが、自分や大切な誰かの命を守る行動に結びつく、そんな教育の可能性を信じています。今後は作成した防災教育ハンドブックが活用され、広がっていくことを願って止みません。



インド

コロナ禍における教育継続支援

バラナシ市内の児童・生徒への就学支援金の供与

株式会社リコー（RICOH）様他グループ会社9社の社員の方々によって構成される「リコー社会貢献クラブ・Freewill」様よりご寄付を賜り、インド・バラナシ市で新型コロナウイルスにより親を失った32名の児童・生徒への就学支援金として活用致しました。

インドで最も人口の多いウッタルプラデーシュ（UP）州の主要都市であるバラナシ市は、ヒンドゥ教の聖地として火葬場が集積しています。そのため、コロナ禍においても地域内外の人流が絶えず、新規感染者が慢性的に増加し、新型コロナウイルスにより23,494名の死亡がUP州内で報告されていました。このような事態の中、親の死亡や失業により経済的な困難で学校を辞退せざるを得ないケースが相次いでいることが市内の5校の教員とのインタビューによって明らかとなっていました。

バラナシ市内で気候変動や防災教育を実施するクライメートスクール（5校）※にインタビューを実施したところ、聖アトゥラナンド校のニーズが最も高いことが明らかになりました。その理由は、一つ目にオートリキシャ（インド式三輪バイクタクシー）運転手や野菜/果物販売など、エッセンシャルワーカーとしてリモートワークが困難な職業に従事している親の割合が多く、新型コロナウイルスによって校内で32名（全校児童生徒3,600人中）の児童生徒が一家の大黒柱を失い、退学の危機にあることが明らかとなりました。

日本のように教科書が無償で提供されず、政府による社会保障や奨学金制度も整備されていないため、一家の稼ぎ手を失うことは大きな痛手となります。資金的な援助がなければ教科書の購入や成長に応じて購入が必要になる制服代を捻出することが困難で、「このままだとドロップアウト（退学）が不可避」という状況に陥っている児童生徒の声が挙げられていました。

今回の「リコー社会貢献クラブ・Freewill」様のご寄付によって、退学の危機にあった32名の児童生徒が一人あたり5,100ルピー分（約8,000円）の支援金を受領し、授業料、教科書代、文具代、バス代、制服代等、それぞれのニーズに応じて活用することができました。この支援により、32名は今年度学校を辞退することなく進級し、継続的な防災・気候変動に関わる教育を享受できることになりました。「リコー社会貢献クラブ・Freewill」の皆様、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

※自動気象観測装置や大気汚染観測機器を設置し、その観測情報を基に防災教育／気候変動への対応教育を実践する学校で、地域の防災情報発信の拠点。SEEDS Asiaと連携し、バラナシ市内に5か所設置（[詳細はこちら](#)）。

ご案内



減災教育 プログラム



ODA白書に Bangladesh 事業掲載

北ダッカ市との協働事業

- 2021年版開発協力白書にSEEDS Asiaの Bangladesh 事業が掲載されました！
- [こちら](#)から、97ページを是非ご覧ください。

社会科学からみるSDGs

授業での活用にオススメ

- SEEDS Asia理事の桜井愛子氏（東洋英和女学院大学国際社会学部教授 兼 東北大学教授）が平体由美先生とともに編著
- 地球の話と「ワタシ」の話をつなぐ一冊です

第8回アクサ ユネスコ減災教育プログラム

参加校募集 5/30✕

- ユネスコ協会が主催する教員向けの防災・減災教育研修プログラムにSEEDS Asiaの理事・アドバイザーが関わっています
- 詳細、ご応募は[こちら](#)

「日本・モンゴル学生フォーラム」

参加者募集 6/30✕

- 外務省が主催する大学生向けのイベントにSEEDS Asiaも講師として参加します
- 詳細、ご応募は[こちら](#)

バックナンバーを読む

アジアの防災・被災地の復興を応援しませんか

SEEDS Asiaの活動は、皆さまからのご支援によって成り立っています。寄付金は、SEEDS Asiaの活動全般へのご支援として、アジア各地での環境・防災、被災地の復興に向けた活動に活用させていただきます。

尚、弊団体は認定NPO 法人格の交付を受けており、個人・法人からでも
ご寄付額に応じて税法上の優遇措置（税額控除対象）を受けることができます。

皆さまからのあたたかいご支援・ご協力をお願い致します。

▼緊急支援に賛同する

銀行振り込みの他、クレジットカードによるオンライン決済、携帯電話料金との同時引き落としも可能です。ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

銀行振込

三井住友銀行 岡本支店
口座番号：普通 0571188
口座名義：特定非営利活動法人SEEDS Asia

郵便振込

口座番号：00960-7-207240
口座名義：特定非営利活動法人 SEEDS Asia <トクヒ> シーズ アジア



オンライン決済

下記のロゴをクリックしていただくか、こちらの日本財団による[CANPAN](#)（オンライン決済のページ）、あるいは[ソフトバンクのサイト](#)にてお願い致します。

注：決済システム上、領収書（税額控除対象証明書）の発行が時期によってはご寄付から約1か月後となりますこと何卒ご了承ください。

尚、ソフトバンクサイトでのご寄付につきましては、自動的に匿名扱いとなっておりますこと、何卒ご了承くださいませ。



  つながる募金

**賛助会員・インターン・ボランティア・
を募集しています！**

▼賛助会員になる

SEEDS Asiaは賛助会員(一口3,000円)を募集しております。毎月のニュースレター
の他、SEEDS Asiaが主催する様々なイベントへのご案内や特典、実施国の情報等
を受け取ることができます。

▼正会員になる

防災支援に関わる技術や専門性、活動を通じた支援が可能な方は正会員(一口10,000円)となっただき、緊急支援調査チームや防災啓発イベントの運営をお手伝いください。

▼イベントに参加する・講演会の実施

国内においても、防災キャンプや講演会、啓発イベントなど災害に負けない人づくりの支援を実施しています。講師派遣も行っておりますので、ご検討いただける方はrep@seedsasia.orgまでご連絡ください。[過去のイベントはこちら](#)

▼インターンになる

国際協力や環境問題の改善、防災教育に興味があり、活動を共に支えてくださる方々を歓迎しております。是非ご連絡をお願いします！

▼ボランティアをする

イベント活動や翻訳などのお手伝いをしていただける方を募集しております。SEEDS Asiaに興味を持っていただいた方、環境問題や自然災害・防災教育などに興味を持たれている方は、是非ボランティア登録を行ってください。翻訳が必要になった時やイベントの実施に合わせて随時事務局からご連絡致します。



ニュースレターは会員の皆様その他、関係者の皆様、スタッフと交流させていただいた皆様にお送りしております。ご変更の場合は、お手数ですが本メールまでご返信ください。

認定NPO SEEDS Asia 日本658-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本1-7-7-307 TEL 078-766-9412

[配信解除](#) [配信設定を変更](#)

今すぐ無料でEメールを送信

Hubspot